

文学部 人間関係学科(心理領域)

科目/学年		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習	1							
		基礎演習	1							
	コア1	キャリア教育 I	2	キャリア教育 II	2					
		手話	2							
	コア2	哲学	2							
		倫理学	2							
		体育実技 I・II	2							
	コア3	法学(日本国憲法)	2							
		人権教育	2							
		ボランティア活動論	2							
	コア4	情報リテラシー I	2	統計学	2					
		教理	2							
コア5	英語1	1	TOEIC1	1	TOEIC3	1				
	英語2	1	TOEIC2	1	TOEIC4	1				
	英語3	1								
	英語4	1								
外書講読							外書講読1	1		
小計	—	26	—	6	—	2	—	1		
専門科目	共通専門科目									
	小計	—	0	—	0	—	0	—	0	
	演習科目			発展演習1	1	専門演習1(心理)	1	卒業演習1(心理)	1	
				発展演習2	1	専門演習2(心理)	1	卒業演習2(心理)	1	
	小計	—	0	—	2	—	2	—	2	
	学科専門科目	心理学概論 I・II	4	公認心理師の職責	2	社会・集団・家族心理学	2	産業心理学	2	
		人体の構造と機能及び疾病	2	心理学統計法	2	社会理論と社会システム	2			
		現代社会と福祉 I・II	4	神経・生理心理学 I・II	4	更生保護制度	2			
		心理学理論と心理的支援	2	学習・言語心理学	2	レクリエーション指導法	2			
				精神疾患とその治療 I・II	4					
				教育学	2					
	小計	—	12	—	16	—	8	—	2	
コース専門科目	福祉心理学	2	感情・人格心理学	2	健康・医療心理学	2	関係行政論	2		
	臨床心理学概論	2	障害者・障害児心理学	2	司法・犯罪心理学	2	心理的アセスメント I・II	4		
			教育・学校心理学	2	知覚・認知心理学	2	心理実習	2		
			心理学研究法	2	心理学実験 I・II	4				
			発達心理学概論	2	心理学的支援法 I・II	4				
			教育制度論		心理演習 I・II	2				
					心理実習	2				
	小計	—	4	—	10	—	18	—	14	
合計	—	42	—	34	—	30	—	19	125	
主要科目1	科目名	心理学概論 I・II	公認心理師の職責	心理実習	心理的アセスメント I・II					
	特徴	心理学がカバーする膨大な範囲のそれぞれを、少しずつつかいつまんで味わっていくような授業であり、心理学という学問を一年を通して概観し、心理学という学問への導入を行う。	授業のテーマは、公認心理師というプロフェッショナルとして働くための A to Z を伝える超広域のものである。グループワークによる学びとプレゼンテーションを行うことで、他者と協働する経験を得る。	3年生前期から1年半を通して、公認心理師資格所得のための実習を行う。実習は学内実習と学外実習に分かれており、学外実習は医療・教育・福祉・司法・産業の5領域にわたり実習を行う。	臨床心理学的援助における重要な柱の一つである心理アセスメントについて学ぶ。各種心理テストを実際に実施・体験し、心理テストの理論、実施方法、解釈、所見について学ぶ。					
主要科目2	科目名	臨床心理学概論	発達心理学概論	心理実験 I・II	卒業論文					
	特徴	臨床心理学は心の問題を援助することを目的とした心理学で、フロイトが催眠療法から精神分析を発展させたのがその始まりである。本講義では、臨床心理学の歴史を学ぶと共に、臨床心理学の発展について概観する。	また、実際に調査用紙などを随時とり、自分のデータをもって理解を深めさせる。そのため出席が最低条件です。心理テストを体験する。調査質問紙をとる。実際に実験に参加するなど演習的側面もある。	毎回の実験については、心理学担当教員がオムニバス方式で実施する。そしてそれぞれの実験にTAとして大学院生が入り、細かい指導を行う。	3年生より所属するゼミにおける個別研究のまとめとして卒業論文を作成します。					
主要科目2	科目名	臨床心理学概論	発達心理学概論	心理実験 I・II	卒業論文					
	目的	本授業では、以下について学ぶことを目的とする。 (1)精神分析と催眠療法の相違を学ぶ。 (2)フロイトの後、ユングの分析心理学、ロジャーズのカウンセリング心理学などがどのように発展し	本講義では、特に心理学・医学における研究法を紹介する	各自実験を体験し、心理学の実験がどのように実施されているのか学習することである。それと同時に、心理学実験のレポート作成に真摯に取り組み完成させることである。 基本的には、実験の実施→統計解析→レポート作成	自分自身で問題点と発見と検証をおこない、必要により調査・実験などを行い、文章にまとめる力を総合的に育む。					

文学部 人間関係学科(社会福祉領域)

科目/学年		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習	1							
		基礎演習	1							
	学際科目	キャリア教育 I	2			キャリア教育 II	2			
		コア1	哲学	2						
			心理学 I	2						
			心理学 II	2						
			スポーツと健康	2						
	生命倫理学	2								
	コア2			社会調査法	2					
		法学	2							
		地域福祉論	2							
	ボランティア活動論	2								
	コア3	数学基礎	2							
	コア4	情報リテラシー	2	統計学	2					
		教理・データサイエンス入門	2							
	コア5	英語1	1	TOEIC3	1					
		英語2	1							
英語3		1								
英語4		1								
小計	—	34	—	5	—	2	—	0		
専門科目	共通専門科目							発達心理学 I	2	
	小計	—	0	—	0	—	0	—	2	
	演習科目			発展演習1	1	専門演習1(社会)	1	卒業演習1(社会)	1	
				発展演習2	1	専門演習2(社会)	1	卒業演習2(社会)	1	
	小計	—	0	—	—	—	2	—	2	
	学科専門科目	社会学と社会システム	2	権利擁護を支える法制度	2	社会保障 I	2	精神障害リハビリテーション論	2	
		心理学と心理的支援	2	社会福祉調査の基礎	2	社会保障 II	2			
		ソーシャルワークの基盤と専門職 I	2	刑事司法と福祉	2	地域福祉と包括的支援体制 I	2			
		ソーシャルワークの基盤と専門職 II	2	ソーシャルワークの理論と方法 I	2	地域福祉と包括的支援体制 II	2			
		社会福祉の原理と政策 I	2	ソーシャルワークの理論と方法 II	2	保健医療と福祉	2			
		社会福祉の原理と政策 II	2	児童・家庭福祉	2	貧困に対する支援	2			
		医学概論	2	高齢者福祉	2	福祉サービスの組織と経営	2			
		障害者福祉	2	精神医学と精神医療 I	2					
		精神保健福祉の原理 I	2	精神医学と精神医療 II	2					
		精神保健福祉の原理 II	2	現代の精神保健の課題と支援 I	2					
				現代の精神保健の課題と支援 II	2					
		小計	—	20	—	22	—	14	—	2
コース専門科目				ソーシャルワーク演習 I	1	ソーシャルワークの理論と方法 III	2			
			ソーシャルワーク演習 II	1	ソーシャルワークの理論と方法 IV	2				
			ソーシャルワーク実習指導 I	2	ソーシャルワーク演習 III	1				
			ソーシャルワーク実習 I	2	ソーシャルワーク演習 IV	1				
					ソーシャルワーク演習 V	1				
					ソーシャルワーク実習指導 II	2				
					ソーシャルワーク実習指導 III	2				
小計	—	0	—	6	—	16	—	6		
合計	—	—	—	—	—	—	—	14	124	
主要科目1	科目名	社会福祉の原理と政策 I・II	ソーシャルワークの理論と方法 I・II	社会保障 I・II	精神障害リハビリテーション論					
	特徴	日本の社会福祉に大きく貢献した社会福祉本質論争などの歴史や理論、実践事例を交えて講義を展開する。	ソーシャルワークにおけるものの見方・考え方の特徴について理解します。	社会保障制度と障害者自立支援法の関連も確認します。	精神障害リハビリテーションとソーシャルワークの関係について学びます。					
主要科目2	科目名	ソーシャルワークの基盤と専門職 I・II	ソーシャルワークの理論と方法 I	ソーシャルワーク実習 II	卒業論文					
	特徴	ソーシャルワークの実践事例や、国際会議でのトピックなど世界の動向を踏まえ、理解を深めていく。	具体的な現場の実践事例を活用して講義を進めます。	実習期間中の各土曜日には、授業として報告会を実施し、実習中および実習終了学生のグループ・スーパービジョンを行います。	3年生より所属するゼミにおける個別研究のまとめとして卒業論文を作成します。					
主要科目2	科目名	ソーシャルワーク(社会福祉実践)の理念と歴史から、ソーシャルワークとは何かについて理解を深める。	相談援助における援助関係について全般的に理解し、面接技術に関する知識を習得します。	相談援助実習に係る実習の意義について理解します。また、個別指導並びにし集団指導を通して、社会福祉士に必要な知識と技術について具体的なかつ実践的に理解し、体得する。	自分自身で問題点と発見と検証をおこない、必要により調査・実験などを行い、文章にまとめる力を総合的に育む。					

文学部 人間関係学科(教育・スポーツ領域)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(人間関係)	1						
		基礎演習(人間関係)	1						
	学際科目	キャリア教育Ⅰ	2		キャリア教育Ⅱ	2			
		大学史と別府大学	2						
	コア1	体育実技Ⅰ	1						
		体育実技Ⅱ	1						
		哲学【公民】	2						
		倫理学【公民】	2						
		心理学Ⅰ【公民】	2						
	コア2	心理学Ⅱ【公民】	2						
		法学(日本国憲法)	2	ボランティア活動論	2				
		現代社会と福祉Ⅰ	2	人権教育論	2				
		現代社会と福祉Ⅱ	2	国際関係論【公民】	2				
		行政法【公民】	2	社会思想史【公民】	2				
		社会学【公民】	2	マスコミ論【公民】	2				
		経済学【公民】	2						
		法学【公民】	2						
	政治学【公民】	2							
	コア3	生物学	2						
	コア4	情報リテラシーⅠ	2						
情報リテラシーⅡ		2							
コア5	英語1	1	英語3	1					
	英語2	1	英語4	1					
	中国語コミュニケーション1	1							
	中国語コミュニケーション2	1							
小計	—	42	—	12	—	2	—	0	
共通専門科目	発達心理学Ⅰ			2	まちづくり特論	2			
	発達心理学Ⅱ【公民】			2	教育実践Ⅰ	1			
	生涯学習論Ⅰ			2	教育実践Ⅱ	1			
	生涯学習論Ⅱ			2	総合ゼミ	1			
	地方自治論	2		2	総合ゼミ	1			
	小計	—	2	—	10	—	6	—	0
	演習科目	発展演習1(人間関係)			1	専門演習1(教育・生涯スポーツ)	1	卒業演習1(教育・生涯スポーツ)	1
		発展演習2(人間関係)			1	専門演習2(教育・生涯スポーツ)	1	卒業演習2(教育・生涯スポーツ)	1
	小計	—	0	—	2	—	2	—	2
	学科専門科目	カウンセリング概論	2	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	2	社会心理学	2		
			障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	レクリエーション指導法	2			
小計	—	2	—	4	0	4	—	0	
コース専門科目	教育学	2	教育メディア論	2	教育制度論	2	学校教育論	2	
			教育学方法論	2	地域教育論	2			
			教育調査論	2					
			スポーツ社会学	2					
			スポーツ教育学	2					
			コーチング論	2					
			トレーニング論	2					
			心理学研究法Ⅰ【公民】	2					
		心理学研究法Ⅱ【公民】	2						
臨床心理学【公民】			2			卒業論文	6		
小計	—	2	—	20	—	4	—	8	
合計	—	48	—	48	0	18	—	10	
									56
専門科目	共通専門科目	発達心理学Ⅰ			2	まちづくり特論	2		
		発達心理学Ⅱ【公民】			2	教育実践Ⅰ	1		
		生涯学習論Ⅰ			2	教育実践Ⅱ	1		
		生涯学習論Ⅱ			2	総合ゼミ	1		
		地方自治論	2		2	総合ゼミ	1		
	小計	—	2	—	10	—	6	—	0
	演習科目	発展演習1(人間関係)			1	専門演習1(教育・生涯スポーツ)	1	卒業演習1(教育・生涯スポーツ)	1
		発展演習2(人間関係)			1	専門演習2(教育・生涯スポーツ)	1	卒業演習2(教育・生涯スポーツ)	1
	小計	—	0	—	2	—	2	—	2
	学科専門科目	カウンセリング概論	2	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	2	社会心理学	2		
			障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	レクリエーション指導法	2			
小計	—	2	—	4	0	4	—	0	
コース専門科目	教育学	2	教育メディア論	2	教育制度論	2	学校教育論	2	
			教育学方法論	2	地域教育論	2			
			教育調査論	2					
			スポーツ社会学	2					
			スポーツ教育学	2					
			コーチング論	2					
			トレーニング論	2					
			心理学研究法Ⅰ【公民】	2					
		心理学研究法Ⅱ【公民】	2						
臨床心理学【公民】			2			卒業論文	6		
小計	—	2	—	20	—	4	—	8	
合計	—	48	—	48	0	18	—	10	
									68
主要科目1	科目名	地方自治論	教育調査論	まちづくり特論	学校教育論				
	特徴	地方自治の理念を憲法との関連も含み学び、また、明治以降に自治の歴史を振り返り、中央・地方関係を論じていく。また、地方自治法の規定に基づき、首長と議会に役割や住民の直接参政の制度等にも触れたい。	教育に関する諸統計調査、主に官庁統計や研究調査の種類や読み方、統計調査の基礎知識・技法(平均、比率、単純集計、クロス集計等)を身につけることを目的とする。	土地政策、都市計画など、特にハード面における諸政策の概略を述べ、次に、自治体レベルで策定されている「まちづくりの条例」の工夫に触れたい。	受講者は発表内容に対して、自分なりの意見の記述が求められ、参加者全員でディスカッションを行い提出された教育問題の解決案を考える。				
	目的	今日、激動する社会の中でトータルシステムの見直しが必要とされている。「地方自治」の拡大もその一環である。	教育現象をとらえるための科学的手法である統計調査を学ぶ。	社会福祉、教育など、地方行政における、いわゆるソフト面に詳しく学ぶ。	学校教育を中心とする具体的な教育問題を提示し、受講者各自でその現状と課題を調査研究し、解決策について考え、発表することを基本的形式とする。				
	科目名	カウンセリング演習	コーチング論	地域教育論	卒業論文				
主要科目2	特徴	エクササイズを取り入れながら体験的に学習を進めていく。	コーチングとは、スキル(技能)向上のための指導・助言のことである。主にスポーツ分野におけるコーチングについて取り扱うが、あわせて社会的スキルなど一般的なものについても取り扱う。	地域社会では、学校教育だけでなく社会教育という教育的活動が行われている。また、学校教育と社会教育は不可分の関連がある。例えば、子どもの問題は学校教育にのみ問題があるのではなく、社会の問題でもあり、地域社会全体での問題解決が求められている。	3年生より所属するゼミにおける個別研究のまとめとして卒業論文を作成します。				
	目的	実際のカウンセリング場面で求められる、自己理解と他者理解、基本姿勢について、履修学生とともに考える。さまざまなカウンセリングを行っていく際に必要となる、基本的な諸技法について演習を行う。	コーチングを受ける、あるいはするという受講生自身の体験を理論として整理していく。	地域社会で営まれる社会教育がどのように学校教育と関連しているかを学ぶ。後半は、別府市の小学校で取り組まれている地域教育の現場で参与観察を行う。	自分自身で問題点と発見と検証をおこない、必要により調査・実験などを行い、文章にまとめる力を総合的に育む。				